

2023. 3. 31

本邦初！ プロキシマー Proximar(株)と「ブルーサステナビリティローン」の契約を締結

静岡銀行（頭取 八木 稔）では、SDGs への取り組みの一環として、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に取り組む企業を金融面から支援するため、「サステナブルファイナンス」の提供に取り組んでいます。

このたび、Proximar(株)（代表取締役 ヨアキム・ニールセン）に対する、総額 88 億円のシンジケーション方式での「ブルーサステナビリティローン※」について、貸付人およびコ・アレンジャーとして、契約を締結しましたので、その概要をご案内します。

※「ブルーサステナビリティローン」とは、環境改善効果および社会的課題解決の双方に資する事業の資金調達を目的としたサステナブルファイナンスのなかでも、とくに SDGs 目標 14(海の豊かさを守ろう)の達成を促進し、海洋保護や持続可能な水産業に資する事業の資金を調達されるために実行されるローンとなります。

1. 契約締結日 3月31日（金）
2. 組成金額 88億円
3. 参加金融機関
 - (1) アレンジャー兼エージェント／みずほ銀行
 - (2) コ・アレンジャー／静岡銀行、日本政策投資銀行
 - (3) 貸付人／静岡銀行、みずほ銀行、日本政策投資銀行

4. 資金使途

○静岡県小山町におけるアトランティックサーモンの閉鎖循環式陸上養殖施設建設資金

- ・一般的な陸上養殖施設では、海水をかけ流しにすることが多く、海水を引くために沿岸から離れた場所に施設を設けるのが難しいとされるなか、「閉鎖循環式陸上養殖施設」は、海水を引く必要がなく、場所を選ばず建設できる利点があります。
- ・また、屋外から魚を隔離することで、外部環境の影響を受けにくいことに加え、水温や水質の管理がしやすく、魚への最適な環境を維持することができます。
- ・あわせて、餌や排せつ物による環境への負荷も抑えることができるため、海洋汚染の防止や生物多様性の保全といった環境改善効果に加え、国産アトランティックサーモンの養殖による食料の安全保障と持続可能な食料供給、施設の周辺地域における経済の活性化にもつながることが期待されます。
- ・なお、Proximar 社は、「ブルーサステナビリティファイナンス・フレームワーク」を策定しており、日本格付研究所からセカンドパーティ・オピニオンを取得しています。

<Proximar 株式会社 会社概要>

| | |
|---------|---|
| 本社所在地 | 横浜市中区山下町 2 産業貿易センター3F |
| 設立 | 2017年5月8日 |
| 代表者 | 代表取締役 ヨアキム・ニールセン |
| 事業内容 | 閉鎖循環式陸上養殖技術によるアトランティックサーモンの陸上養殖事業 |
| サイト URL | http://ja.proximarseafood.com/ |